

**2009年1月1日以降に  
当科で腎移植を受けられた患者様およびそのご家族の方へ**  
—「腎移植後の尿検査および尿細胞診とウイルス感染症の関連性の検討」へご協力のお  
願い—

研究機関名	岡山大学病院	
研究機関長	岡山大学病院長	前田 嘉信
研究責任者	岡山大学病院泌尿器科	准教授 荒木 元朗
研究分担者	岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域泌尿器病態学	教授 渡邊 豊彦
	岡山大学病院新医療研究開発センター	教授 渡部 昌実
	岡山大学病院低侵襲治療センター	講師 小林 泰之
	岡山大学病院泌尿器科	助教 定平 卓也
	岡山大学病院泌尿器科	医員（レジデント） 関戸 崇了

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

当科では2009年5月から腎移植を行っており、腎移植後のフォローで行う検査に尿検査、尿細胞診検査があります。尿細胞診検査の目的は、移植後の免疫抑制状態で生じうる重要な合併症であるウイルス感染症を早期発見することです。今回我々は、既存の腎移植後患者の尿検査および尿細胞診結果を用いて、ウイルス感染症との関連を検討します。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究成果により、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2009年1月1日以降に岡山大学病院泌尿器科で腎移植を受けられた方のうち、尿検査および尿細胞診検査を行った方を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年4月30日

### 3) 研究方法

2009年1月1日以降の岡山大学病院泌尿器科の腎移植後患者様で、年齢、性別、通院歴、血液および尿検査データ、尿細胞診データ、処方薬、ウイルス感染症や腫瘍など移植後に認められた疾患名や疾患活動性の情報を電子カルテから抽出し、必要なデータを用いて解析を行い、ウイルス感染症との関連性を検討します。

後ろ向きにデータを抽出するもので、本研究が直接、患者の診断や治療方針に影響するものではありません。

#### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、病名、診察所見、病気の重症度、治療内容
- 2) 血液検査（電子カルテ上でオーダー可能な項目：クレアチニン、尿素窒素、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、尿酸、ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球数）
- 3) 尿検査（電子カルテ上でオーダー可能な項目：蛋白尿、血尿、蛋白尿定量、尿沈渣赤血球数、尿沈渣検査所見）
- 4) 尿細胞診検査
- 5) 内服処方薬、注射処方薬

#### 5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院泌尿器科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合があります。ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 泌尿器科

氏名：関戸 崇了

連絡先： 泌尿器科医局 086-235-7287（平日 8:30～17:00）

泌尿器科病棟西5階 086-235-6708（夜間・休日）